

新刊紹介

- 一般書
- 児童書



- 騙る／黒川 博行(著)／文藝春秋
- 還暦からの底力 ～歴史・人・旅に学ぶ生き方～／出口 治明(著)／講談社
- ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人／東野 圭吾(著)／光文社



- カラスのいいぶん／嶋田 泰子(著)／岡本 順(絵)／童心社
- 親子でかんがえよう!防災クイズずかん／桶田 ゆかり(監修)／チャイルド本社
- またまたうそだあ!／サトシン(作)／山村 浩二(絵)／文芸堂

3月は休館です。

南薩地域地場産業振興センター2階での運営は、令和3年2月28日で終了しました。移転作業に伴い、3月31日(水)まで休館とさせていただきます。ご不便をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

※3/31までの休館中は、市立図書館(住吉町131番地)にブックポストを設置しています。まだお手元に本をお持ちの方は速やかに、ご返却をお願いいたします。

4月より開館!!

今年度実施していました図書館内の大規模改装が終了し、4月1日から図書館を開館します。今後とも、よろしくお願いいたします。

本紙では、リニューアルオープンする市立図書館の新たなサービスについて紹介します。

利用者カードが新しくなります!!

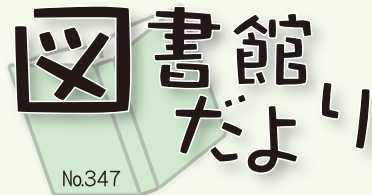
図書館システム導入のため、利用者カードを新しくします。現在ご利用のカードは使えなくなりますので、4月1日より来館された方から、順次発行します。ご理解とご協力をお願いします。

本の除菌機を設置します。

新たに本の除菌機を設置します。本の消臭、抗菌、殺菌をすることができます。

図書館システムを導入します。

自宅に居ながらご自身のPC・スマホで館内の本検索が可能になります。館内にも検索機を設置しますので、詳しくは、図書館職員までお尋ねください。



市立図書館 72-9254  
ホームページ  
https://www.city.makurazaki.lg.jp/site/library/  
★開館時間 9:30~18:00

カレンダー 3月10日~4月9日

日	月	火	水	木	金	土
			3月10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	4月1	2	3
4	5	6	7	8	9	

- 休館日
- ★イベント
- おはなしのへや 午後3時~ (絵本と紙芝居の読み聞かせ)



- 活動内容 毎月、「広報まくらざき」をCDに音読し、視覚障害の方へお届けしています。
- 今月の担当 牛山さん、野村さん
- 会員募集中 問い合わせは図書館まで。

枕崎の特色ある教育

文部科学省「学びの保障オンライン学習システム」実証事業

問合せ 学校教育課 TEL72-0170

国が全ての公立小・中学校に児童生徒一人一台情報端末の整備を進めている「GIGAスクール構想」の実現に向け、文部科学省が開発を行っている「学びの保障オンライン学習システム」を使った授業に、枕崎市内4小学校の5・6年生が全国に先駆けて今年1月から取り組んでいます。

このシステムには、過去の全国学力・学習状況調査で出題された問題を中心に、思考力や表現力等を伸ばす問題が数多く掲載されており、事前に教師が児童の学習の様子をもとに選定した問題が、児童用のタブレット端末に表示され、オンラインで解答することができます。問題を解いた後は即時に採点され、結果が表示されます。また、問題の解説をその場で確認することができ、学習の記録も保存されるようになっています。指導する教員は担当する児童の解答の正誤や正答率の確認もすぐできるので、授業のまとめや発展学習での効果的な活用が期待されます。さらには、授業だけでなく、各家庭においてインターネットに接続したパソコンやタブレット端末を用いて、家庭学習の教材としても活用できるので、臨時休校等の緊急時における学習への活用も考えられます。本実証事業での改善点を踏まえ、来年度以降、全国全ての公立小・中学校で活用できるようになる予定です。学校での新しい学びの形が始まります。

立神小学校(6年生)

立神小学校6年生の国語の授業の様子です。



授業の終末段階で、子どもたちが全国学力・学習状況調査で出題された問題をタブレット端末を使って解き、学習内容の理解を深めています。

桜山小学校(5年生)

桜山小学校5年生の算数の授業の様子です。



授業の導入段階で、子どもたちがタブレット端末を使って問題を解いた後、担任の先生と一緒に問題の解き方を確認しています。

枕崎小学校(5年生)

枕崎小学校5年生の国語の授業の様子です。



授業の終末段階で、子どもたちがタブレット端末を使って思考力を伸ばす問題に取り組んでいます。自分のペースで問題を解いていました。

別府小学校(5年生)

別府小学校5年生の算数の授業の様子です。



授業の導入段階で、全国学力・学習状況調査に出題された問題を、子どもたちがタブレット端末を使って解き、復習に取り組んでいます。

防災一口メモ

いざという時のために



津波について③(津波発生時の情報伝達について)

気象庁は、地震が発生した場合には、地震の規模や位置を推定し、沿岸で予想される津波の高さを求め、地震発生後、約3分を目標に津波警報等を発表します。発表された情報はテレビやラジオ等を通して知ることができます。また、令和2年夏、新しく赤と白の格子模様の旗「津波フラッグ」が加わりました。海水浴場等で聴覚に障害のある方や遊泳中で音が聞き取りにくい方などに知らせることができます。海岸付近で地震の揺れを感じたり、津波フラッグを見かけたら、直ちに高い場所に避難しましょう。

問合せ 総務課危機管理対策係 TEL72-1111(内線214)

環境・ごみ減量・動物愛護などに関する情報を発信するコーナーです。

今月のテーマ

環境保全促進事業を活用した体験学習



2月上旬、NPO法人子育てふれあいグループ自然花にて環境体験学習が行われました。幼児、小学生、保護者合わせて50名ほどの参加があり、「草木染め」や「植樹」、「シイタケのコマ打ち」などの体験活動を行いました。

体験活動を通して、森林の大切さや森林の恵みについて学ぶことができました。



問合せ 市民生活課環境整備係 TEL72-1111(内線325)

○移植の成功のキはHLA  
HLA型は両親から引き継ぐため、型が合う確率は兄弟姉妹間では4分の1ですが、非血縁者間では数百〜数万分の1という非常に低い確率となります。また、ようやく型が合うドナーが見つかったとしても、家族や周囲が反対する、移植のために仕事が

○骨髄バンクの役割  
骨髄バンクは、患者さんのために骨髄・末梢血幹細胞を提供してくれる方を募集し、ドナー(提供者)の情報を登録、管理しています。骨髄・末梢血幹細胞移植は、白血病や悪性リンパ腫など、治ることが難しい血液の病気の患者さんに対する治療の一つです。患者さんが移植を必要とすると、ドナー登録者の中からHLA型(白血球の型)が合う候補者を探し、移植に向けて調整を行います。調整後ドナーは入院し、患者さんへ移植を行います。移植後ドナーは3〜4日で退院し、その後多くの方がすぐに日常生活に戻ることができ

みんなであつなく  
命のバトン「骨髄バンク」



○ドナー登録  
ドナー登録の条件は、①骨髄・末梢血幹細胞提供の内容を十分に理解している方、②18歳以上で健康な方、③体重が男性45kg、女性40kg以上の方となります。以上を満たしても、血圧や既往歴などによってはドナー登録ができない場合があります。

ドナー登録は県赤十字血液センター、献血ルーム、県内各保健所(予約制)で受付が可能です。また、献血と併行して骨髄バンク登録会が行われることもあり、本市ではハート献血(例年4月に開催)で登録会を実施しています。

年間2千人を超える患者さんが、骨髄バンクからの移植を必要としています。登録が患者さんの大きな希望となりますので、皆さんのご協力をお願いします。



健康ちゃんねる

問合せ

健康センター  
TEL72-7176